

八重山商工高等学校 機械電気科

先日の取材がありました。
全国出場おめでとうございます。

八重山毎日新聞社より

八商工、5位まで独占

スターリングテクノロジーノラリー県大会

マシンで 大会新V 全国も更新、11月大会期待

自作のエンジンを使ったマシンで競う「第9回スターリングテクノロジーノラリー県大会」で八重山商工高校の生徒が上位を独占。26日午後、同校で報告した。スピードクラスは、大会新記録を樹立し優勝から5位までを独占。優勝したマシンの記録は、昨年の全国優勝記録を上回り、大舞台での活躍も期待されている。

県大会は、7日に浦添市にある那覇工業高校で実施。マシンの機関内部の気体に温度差を与えて収縮、膨張させることで動くスターリングエンジンの性能とアイデアを競った。

2部門に80台のマシンが出走し、八商工は、由緒のクラスでも優勝。アイデア賞も受賞した。スピードクラス1位と2位、由緒のクラス1位のマシンは全県大会に出場する。

2人1組で複数台のマシンを出走させたスピードクラスは、1周8・8秒のコースのタイムを競うもの。東原大樹君（機械電気科3年）と宮原浩夏君（同）のマシンは、1・35秒の大会新となり、昨年の全国優勝記録1・42秒を上



第9回スターリングテクノロジーノラリー県大会で上位を独占した八重山商工高校の生徒たち＝26日午後、同校

にも入賞。東原君は「2人の別のマシンは3位。量があるねじを使わないマシンにして軽量化を図った」と勝因を語り、宮原君は全国大会に向けて「今年回の記録が出るには限らない。改良の余地があれば改

良したい」と意欲を示した。ルーブしたコースの箇所を競う由緒のクラスで優勝した仲底輝哉君（同）と尾比久大雅君（同）も招待を語り、アイデア賞を受賞した大嶺毅輝君（同2年）と金城敬済君（同）は大会を振り返った。同校の真栄田義功校長も激励のあいさつを述べた。全国大会は11月12日に埼玉県にある日本工業大学で行われる。

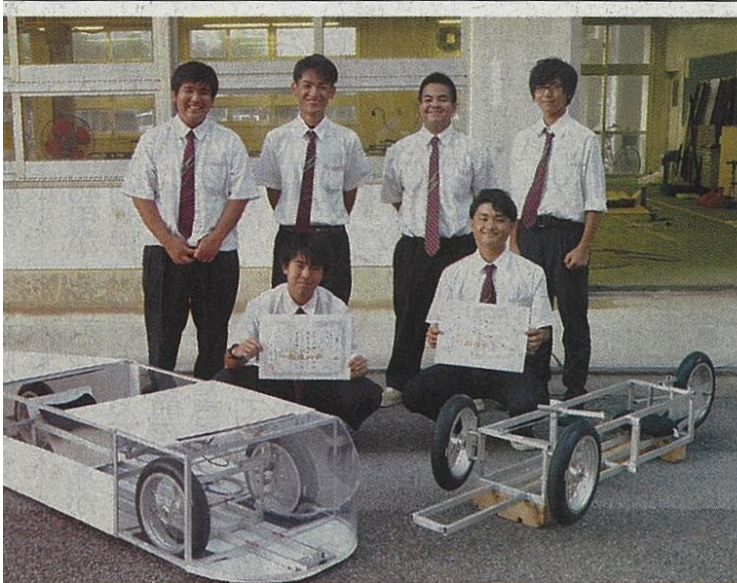
八重山商工高等学校 機械電気科

先日の取材がありました。
全国出場おめでとうございます。

八重山毎日新聞社より

高校生が製作した電気自動車で競技する「第18回県高校エコデンレース大会」で八重山商工高校が2、3位となった。26日午後、同校で報告した。11月23日に大阪府にある万博記念公園で行われる全国大会にも出場する。

大会は、1周約200メートルのコースで制限時間内の周回数を競うもの。同校の4チームを含め、26チームが出走した。1チームは3、4人で構成。ドライバーや



「第18回県高校エコデンレース大会」で2位、3位となった八重山商工高校の生徒たち=26日午後、同校

八商工が県大会2、3位

エコデンレース 来月の全国大会に出場

高校生が製作した電気自動車「ピットマン」などの役割を担う。2位となった車両「78」を代表して、ドライ

バーを務めた比嘉涼平君（機械電気科2年生）は「初めての大会で緊張したが2位に入れてうれしい。ちょっとした調整も行いながら全国では今回以上の成績を出したい」と意気込んでいた。